

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎230052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



ミヤマツツジに囲まれて尺八の演奏をする縄巻さん

つつじに包まれ春の訪れを楽しむ

■勝間田公園つつじまつり

勝間田公園つつじまつりが4月16日、勝間田公園で行われました。

勝間田公園のある三栗山（標高89.8m）には、ミヤマツツジ（学名：コバノミツバツツジ）が群生し、昭和54年に静岡県の天然記念物に指定されています。

山頂広場や登山道では、地域の茶農家さんから新茶が振る舞われたほか、マジックショーや縄巻修巳さんによる尺八の演奏が行われ、多くの来場者が春の訪れを楽しみました。

人と水とを結ぶ100年配水池

■大江配水池築造工事安全祈願祭

大江配水池築造工事の安全祈願祭が4月7日に行われました。

この配水池は、安全でおいしい水を安定して供給するため、100年間機能を維持することができるステンレス鋼板製の「100年配水池」で、最大貯水量は3,000立方メートル。平成30年2月末の完成を目指し、着実に工事を進めています。

また、皆さんが水道事業を身近に感じられるよう、現在施設の外観や愛称を専門家や水道使用者、事業者と共に検討しています。



安全祈願祭でくわ入れを行う西原市長と完成イメージ図



入園児を歌やあいさつで出迎える年中組と年長組の園児

みんな仲良く遊ぼうね！

■相良こども園開園式・入園の集い

相良幼稚園から認定こども園に移行した「相良こども園」の開園式と入園の集いが、4月4日に行われました。

相良こども園は、保育に必要な給食調理室を増設し、0歳児からの受け入れが可能となりました。入園した1歳から3歳児の22人は、年中組と年長組の園児から歌やあいさつで出迎えられました。

名波令子園長は「こども園は初めての挑戦。保護者や地域の皆さんと相談や話し合いをして良い園にしていきたい」と話しました。

若い力を十分に発揮し地域を守る

■平成29年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月2日、静波体育館で行われ、新入団員54人と女性消防隊員3人が新たに辞令交付を受けました。

新たに消防団長に就任した伊藤正哉団長は「訓練を重ね、消防団活動に早く慣れることを願っています。若い力を十分に発揮し、自覚と責任、誇りを持って消防団活動を行ってほしい」と新入団員を激励しました。

新入団員の畑大介さんは「消防団活動を通して、地域に貢献したい」と意気込みを語りました。



観閲者（西原市長）から辞令交付を受ける伊藤団長

長藤の甘い香りが会場を包む

■東光寺長藤まつり

4月16日から5月3日まで、東光寺長藤まつりが開催され、園児や住民らでにぎわいました。

東光寺の長藤は、磐田市の行興寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、花房が1メートル以上も垂れ下がり、紫色の美しい花をつけます。

今年は例年に比べ1週間ほど遅く開花。開催期間中には、夜間のライトアップも実施されました。

訪れた人たちは、長く垂れ下がった長藤の香りを楽しんだり、食事をしたりとそれぞれの時間を過ごしていました。



長藤の見学に訪れた近隣の園児や住民



入学式後に決意を語ってくれた鷺坂さん

心温かいやさしい看護師を目指す

■静岡県中部看護専門学校入学式

本市と藤枝市、焼津市、吉田町が運営する静岡県中部看護専門学校の入学式が4月10日、同校講堂で行われました。

今年度の入学者は42人で、本市からは鷺坂月乃さんが入学しました。

鷺坂さんは「患者さん目線で、患者さんのことを一番に考えられる看護師を目指していきます」と決意を語りました。

生徒は3年間、看護の知識や技術、精神を学び、地域に貢献できる看護師を目指します。

ラッピングスクールバス出発！

■スクールバス出発式

牧之原市初となるスクールバスの出発式が4月6日、相良庁舎駐車場で行われました。

スクールバスは、片浜地区の児童33人が相良小学校までの登下校時に利用されるほか、市内小学校の校外授業時にも利用されます。

バスの側面にラッピングされたイラストは、市内の小学生が描き、この日行われた始業式に合わせて披露されました。

池村勇輝さんは「元気に学校へ行こうと思えるデザイン。大切に使います」と話しました。



ラッピングスクールバスの出発を喜ぶ児童たち



手作りされた見事な作品に足を止め見入る来場者

手作りの作品で魅了

■大沢手芸教室作品展

15年間活動をしてきた大沢手芸教室の作品展が、4月2日から8日にかけて般若寺（大沢区）の書院で行われました。

会場には、手芸教室のメンバー8人が作ったつるし飾りや人形、日傘などの約400点が展示され、訪れた人は作品の前で足を止め、手作りの素晴らしい出来栄に魅了されていました。

手芸教室の皆さんは「みんなと楽しく作っています。できたときは本当にうれしい。これからも続けていきたいです」と話しました。